

日本海ケーブルネットワーク株式会社（NCN）

2012年春季放送番組審議会議事録

■ 日 時：2012年2月7日（火）午後1時半～3時

■ 場 所：日本海新聞本社ビル6階会議室（鳥取市富安2丁目137番地）

■ 出席者

審議委員：谷口博繁（会長、鳥取環境大学常務理事）、福田京子（副会長、県地域づくりセンター所長）、見生義明（鳥取市情報政策課長）、森徹郎（倉吉市総合政策室長）、松浦弘幸（三朝町企画観光課長）、佐々木千代子（サラベル鹿野社長）、山崎博（会社員）、岡嶋公則（鳥取信用金庫常務理事営業推進部長）、千葉雄二（とっとり地域連携・総合研究センター）＊役職は当時、敬称略、順不同

NCN：富長一郎（常務取締役）、岡村博（編成制作部長）、中嶋信行（倉吉放送センター係長）、松村公太郎（編成制作部）

■ 日程

- 1、開会あいさつ
- 2、出席者紹介
- 3、経過報告
- 4、協議事項
 - ① 放送法改正に伴う審議会規程の変更について
 - ② 自主制作番組に対する意見交換

—協議事項—

1. 放送法改正に伴う審議会規程の変更について

2011年6月の改正放送法の完全施行に伴い、審議会規程の一部変更が必要となったため提案。内容は下記の新旧対照表通り

(旧) 第1条 日本海ケーブルネットワーク株式会社（以下「NCN」という）は有線テレビジョン放送法第17条の規定に基づき、NCN放送番組審議会（以下「審議会」という）を設置する。

↓

(新) 第1条 日本海ケーブルネットワーク株式会社（以下「NCN」という）は放送法第6条、第7条の規定に基づき、NCN放送番組審議会（以下「審議会」という）を設置する。

審議の結果、全会一致で了承した。

2. 自主制作番組に対する意見交換

意見の対象は2011年4月から2012年1月31日にまでにNCNで放送した自主制作番組について意見を求めた。委員には、年末年始に放送した13の特別番組のダイジェスト版を収録したDVDを事前に視聴してもらったほか、当日は情報ワイドNCNピットステーション（30分）を見てもらった。

（委員）

年末に放送された（鳥取）市庁舎建設問題、（鳥取）西高問題の（特集）は、市民に分かりにくい問題を取り上げてもらいたい。その都度、枠をとってでも放送してもらいたい。

（NCN）

可能な限り、タイムリーに放送したい。

（委員）

新年に放送した防災の番組（地域の防災を考える）は、家庭でできる防災対策などシリーズ化して放送してはどうか。

（NCN）

検討する。

（委員）

子どもが興味を持って見る番組を作してほしい。

（NCN）

ニュースを中心とした番組（ラインナップの中）で、難しい面もあるが、子どもに見られるコーナーなども検討したい。

（委員）

ニュースの特集で、（買い物難民となっている）高齢者のために、地域が主体となって（身の回り品を扱う）小売店を開店させた話題は他の地域にとっても好例ともなる。このような話題をもっと取り上げてほしい。

（NCN）

地域に密着した話題を今まで以上に上げるよう努力する

（委員）

中部地区のニュースが少なくなったように感じる。中部での催しをもっと取り上げてほしい。また、最近、高齢者を狙った悪徳商法が増加傾向にある。高齢者を啓発する特集を作してほしい。

(委員)

年末のチャリティー芸能フェスティバルは、お年寄りに好評だった。

(NCN)

年末と1月に放送した。例年、反響の大きい番組なので放送日程をPRしたい。

(委員)

ニュースも含めた制作番組に、関連したテーマ性を持たせるかが大切。

長時間の番組では「すべて伝える」側面と「まとめて伝える」の両面が必要。

長時間の番組では情報が過剰にならないようなテーマ分けが必要。

(NCN)

現場は、日々のニュースに追われる現状があり、テーマ性を設けられる余裕がないのが現状。参考にさせてもらいたい。

(委員)

市庁舎問題はよかった。既に取り上げているかもしれないが、ジオパークについても引き続き取材して行ってほしい。

(その他)

- ・ 県外波はSTBでないと見えないが、安価なチューナーで見えるようにできないか
→ 民放局との協議の結果、トランスモジュレーション方式での放送を実施している。
ご理解をお願いしたい。

(以上)